



うきただより

～本校の教育目標～『学ぶ子 やさしい子 元気な子』

令和8年10月1日発行
令和8年度学校だより第6号
江戸川区立宇喜田小学校
校長 中田 伸代
在籍児童数 419名
☎ 03-3689-1291



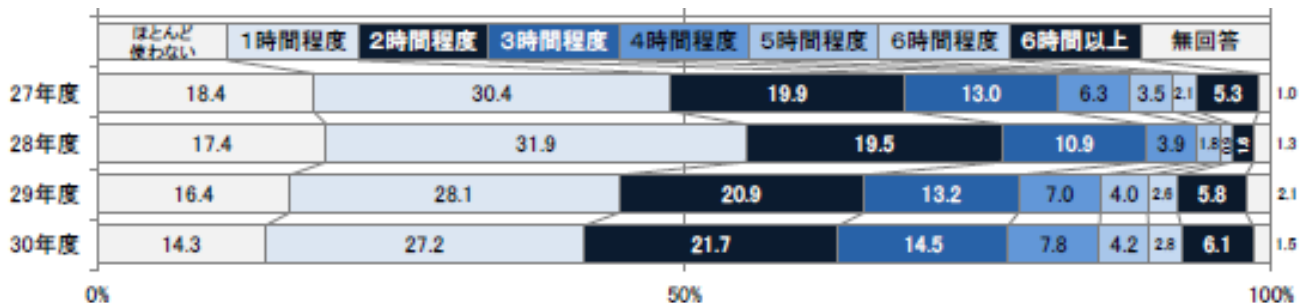
秋深き 隣は何を する人ぞ

副校長 田村 有一

日の入りが早まり、秋の訪れを感じさせる季節となりました。「秋の夜長」という言葉を聞くことも多いこの季節、お子様や保護者の皆様はどのように過ごされているのでしょうか？

下の2つの資料は、『SNS東京ルール』の改訂について（東京都教育委員会 平成31年4月）で示された資料になります。少し古い資料にはなりますが、今回は秋を代表する松尾芭蕉の俳句に寄せて、お子様やご家庭での「秋の夜長」過ごし方について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

1 一日のインターネットの利用時間（小・中・高及び特別支援学校平均）



2 校種別アプリの使用状況

	YouTube	LINE	Twitter	Instagram
小学校	81.4	37.0	6.0	7.7
中学校	90.5	80.7	32.5	27.1
高等学校	91.6	97.5	72.4	61.2
特別支援学校	92.1	59.9	22.6	13.2
全体	85.4	59.3	22.7	20.6

平成30年度調査より 単位 %

1の「一日のインターネットの利用時間（小・中・高及び特別支援学校平均）」からは、平成27年度以降、2時間程度以上利用している児童の割合が増加していることが分かります。また、「令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査調査結果」（こども家庭庁 令和7年3月）によると、小学5・6年生の児童の約7割が3時間以上利用していることが示されているなど、この傾向は依然として継続しているとともに、低年齢化が進んでいることが分かります。

2の「校種別アプリの使用状況」からは、小学校までは「受信型」の要素が強いアプリが圧倒的多数を占めているのに対し、中学校では、「発信」や「共有」といった要素の強いアプリが増加していることが分かります。上で紹介させていただいた「令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査調査結果」（こども家庭庁 令和7年3月）では、報道等でも取り上げられる機会も増えているいわゆるSNSトラブルや特殊詐欺、闇バイトなどに関係してしまったり被害に遭ってしまったりする児童の増加傾向や低年齢化も危惧されてるところです。

お子様やご家庭の使用時間や利用状況と比べてみていかがだったでしょうか？もちろん、単純に利用時間が長いことや様々なアプリを使用することのみをもって問題があるといったことにはなりません。しかし、このインターネットを利用している時間は、もしかするとご家族と一緒に過ごされる時間や直接体験の機会などを圧迫するものになっているかもしれないという意識をもつことは重要なのではないかと思います。

また、「発信」や「共有」といった要素の強いアプリの使用に関しては、お子様をトラブルや犯罪から守るといった視点でも特に気を付けなければならないことだと思います。

令和の時代の世の中には、便利な道具が、そして、それらを介して得られる多様な情報やコンテンツが溢れています。ときには「秋の夜長」についついのめり込んでしまいがちなこともあるのではないのでしょうか？保護者の皆様には、この「秋の夜長」という季節に、ご家族で過ごす一時を満喫してほしいと願っています。